

<事業名> 豊岡フェス！

団体名	一般社団法人豊岡青年会議所
所在地	豊岡市
代表者名	理事長 池垣 睦生

事業内容	<p>フェス（≡お祭り）イベントの実施。豊岡市内を中心に活躍する若者が営む事業やサービス、パフォーマンス（芸術・文化・スポーツ）を一同に集め、豊岡市民に広く知って、体感してもらう機会の創出を目指した。</p> <p>この機会創出に際しては、地域の若者（20～30代）をともに考え、企画立案から当日の運営に至るまでを協働して行った。その過程で、一般名称として「ToyookaMiraiMarket」として、販売を伴う事業としての広報を図った。</p> <p>また、当日の事業前後で協働した若者と来場者へのアンケートを実施し、まちづくりに関する意識調査と若者と行うまちづくりについての提言をまとめた。</p> <p><開催概要></p> <p>日時：2021年7月11日（日） 10時00分～16時00分</p> <p>場所：全但バス但馬ドーム（兵庫県豊岡市日高町名色88-50）</p> <p>一般参加者：1759名</p> <p>若者参加者（運営側）：13名</p> <p>芸術文化観光専門職大学参加者：64名</p> <p>豊岡商工会議所青年部（協力団体）参加者：15名</p> <p>豊岡青年会議所メンバー参加者：14名</p> <p>出店者：31店・団体</p> <p>出演者：8団体</p>	
	地域	豊岡市・養父市・朝来市・香美町・新温泉町・京丹後市
事業の効果	<p>1 団体（組織）内の効果</p> <p>本会メンバーが一丸となって取り組むことができ、普段の活動では経験できない大型イベントの開催と運営を経験することができた。また、メンバー以外の若者との協働によって、まちづくりに対する先進的で先鋭的な発想に触れることができ、今後のまちづくりに対する意欲を高めるきっかけとなった。</p>	
	<p>2 地域への効果</p> <p>フェスを通して「豊岡にこんなお店があったんだ！」「あの人（若者）がやっているサービス面白いよ！」と多くの市民が、豊岡の若者の魅力・活力に触れ、知り、ファンとなり、フェス後も持続的に繋がるきっかけとなった。「豊岡でも楽しめる」と多くの市民に、多くの関係者に実感してもらえ、活性化を図り、豊かなまちづくりへと機運を高めることができた。</p>	
事業経過	2021年	<p>4月14日 若者ミーティング開催。ボランティア参加の若者（20～30代の男女）が30名参加。本会メンバーとともに事業化に向けた協議を開始。</p> <p>5月26日 若者ミーティング開催。広報・出展者対応・運営の3つのチームを編成して各チームごとに進捗管理を行う。</p> <p>6月17日 若者ミーティング開催。各チームごとの進捗管理。</p> <p>6月20日 出店者説明会（WEB）。30団体（店）が参加。欠席者には個別対応（郵送・TEL・訪問などで最終説明）</p> <p>7月10日 前日会場準備</p> <p>7月11日 事業当日</p> <p>7月26日～ 事業のアンケートを開始。WEBアンケートによって出展者・若者ボランティアに回答を依頼し、順次回収。</p>

	10月29日	回収後に、事業前後のアンケート結果を踏まえて調査研究の実施。 調査研究の完成（事業完了）
協働の相手方	豊岡市内在住・在勤の20～30代の男女。 豊岡商工会議所青年部	
今後の課題等	<p>〈事業を実施する上での課題〉</p> <p>1 団体（組織）の課題 大型事業の実施経験が乏しく、当日まで多くの混乱があった。今回の経験を踏まえてノウハウを今後活かす必要がある。また、メンバー数が少なく、当日中核となって運営に携われる人員に限界があった。協働の相手方なしには事業実施は困難であった。</p> <p>2 地域の課題 若者が主体となっているイベントやお店、サービスが浸透しておらず、今回のイベントで初めて知ったとの声が多かった。この地域で未だに知られていないお店やサービス、イベントなどが多数あり、魅力の発信を継続していく必要性を感じた。</p> <p>〈令和4年度以降の事業計画〉 本会は単年度制を基調としており、次年度（1月1日～）はメンバーそれぞれが別の組織内役所で活動するため、継続事業は困難である。しかし、本事業で多くの繋がりを得られ、今後の本会事業において協働の相手方としっかりと連携してより良い事業実施に繋げたい。</p>	



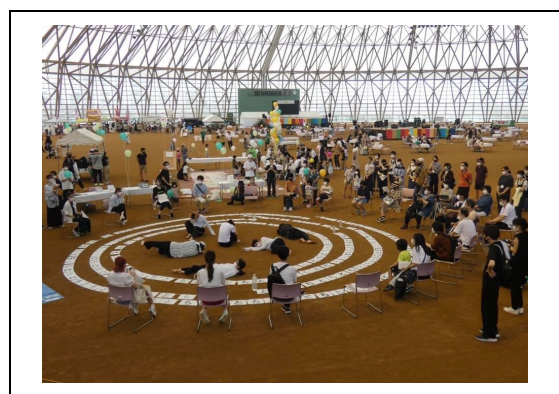
2021年4月14日若者ミーティング



2021年7月11日 豊岡フェス！当日



2021年7月11日 豊岡フェス！当日



2021年7月11日 豊岡フェス！当日